

塗る・切る・磨くで世界を変える

mipox

2023年3月期 第2四半期決算説明資料

Mipox株式会社(マイボックス) 証券コード 5381

01 業績概要	-----	2023年3月期 第2四半期
02 業績見通し	-----	2023年3月期 通期
03 取り組み	-----	2023年3月期 下期取り組み
04 Appendix	-----	会社概要

01

業績概要

2023年3月期 第2四半期

2023年3月期 第2四半期 (累計) 業績サマリー

売上は安定的に推移、円安進行による為替差益発生も売上総利益の低下により増収減益

※ミスミ化学株式会社は非連結子会社

売上高

5,469 (百万円)

前年同期比較 (Q2累計)

415 (百万円) 増

営業利益

357 (百万円)

前年同期比較 (Q2累計)

483 (百万円) 減

【営業利益増減要因】

- 原材料・エネルギー費用の高騰
- 売上構成の変化

▲ 208百万円

- 生産能力拡大に向けた物流コスト・人件費を中心に売上原価及び販管費が増加

▲ 158百万円

【経常利益増減要因】

- 為替差益

+ 350百万円

経常利益

725 (百万円)

前年同期比較 (Q2累計)

66 (百万円) 減

純利益*

*親会社株主に帰属

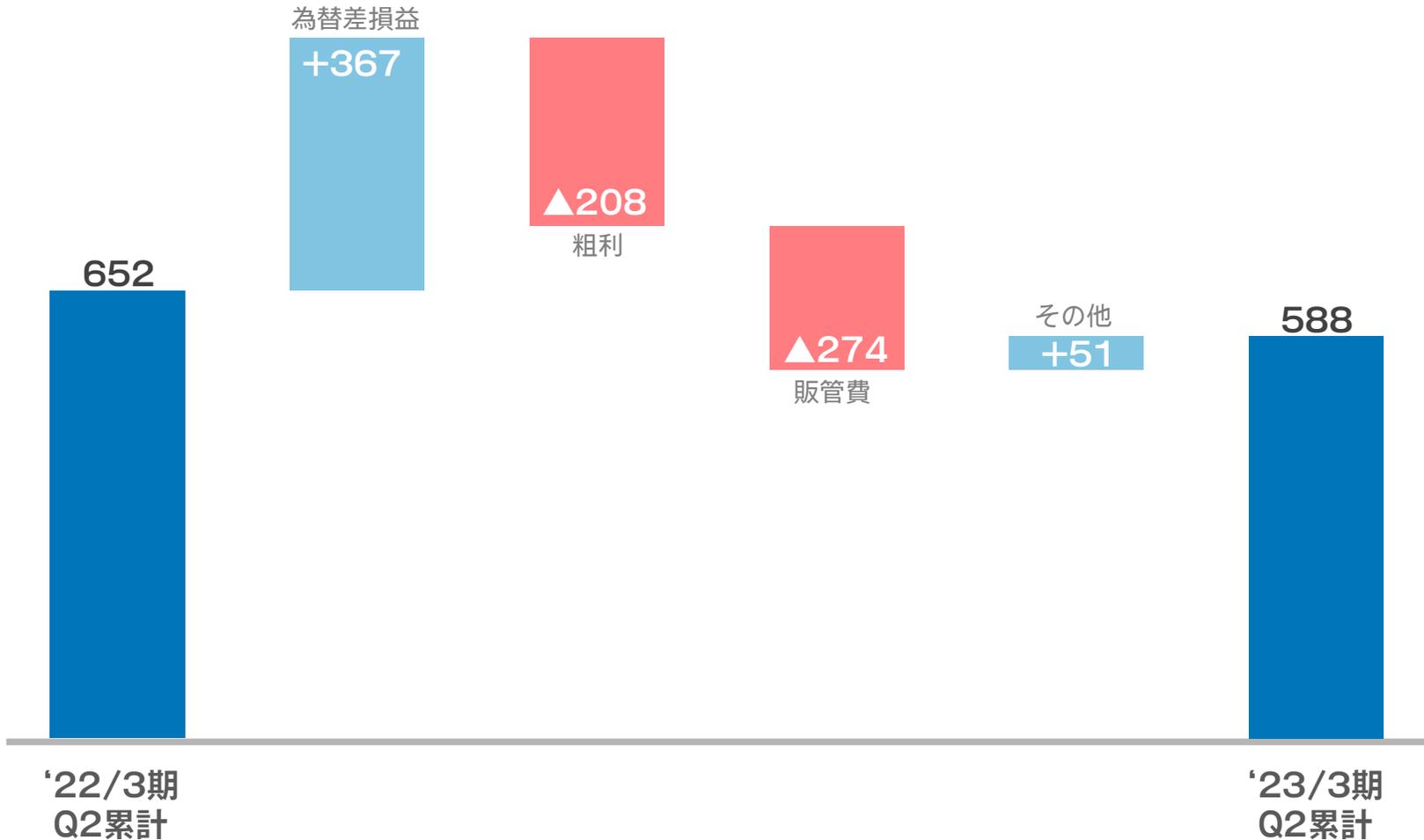
588 (百万円)

前年同期比較 (Q2累計)

64 (百万円) 減

資源価格の高騰、生産能力拡大・グループ生産体制の再編によるコスト増により減益

[単位：百万円]



2022年3月期 第2四半期
純利益 (Q2累計)
652(百万円)

▲64 (百万円)

2023年3月期 第2四半期
純利益 (Q2累計)
588(百万円)

【利益増減要因】

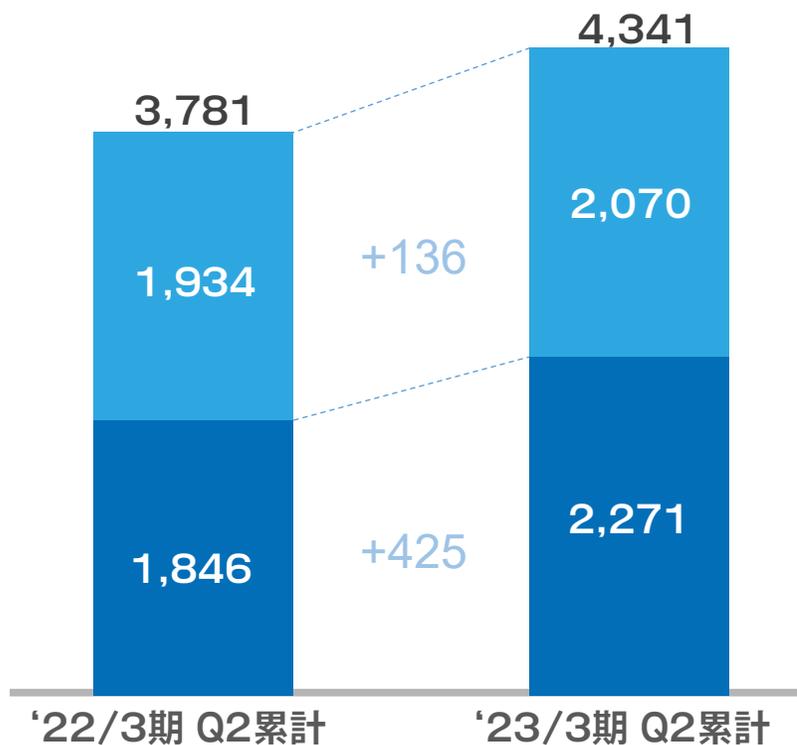
- 円安による為替差益
- 原材料・エネルギー高騰、売上構成の変化による総売上総利益の減少
- 物流コスト・人件費を中心に販管費増

ハイテク関連市場を中心に売上増加 上海ロックダウン解消、自動車業界の緩やかな回復、円安も影響し増収増益

売上

[単位：百万円]

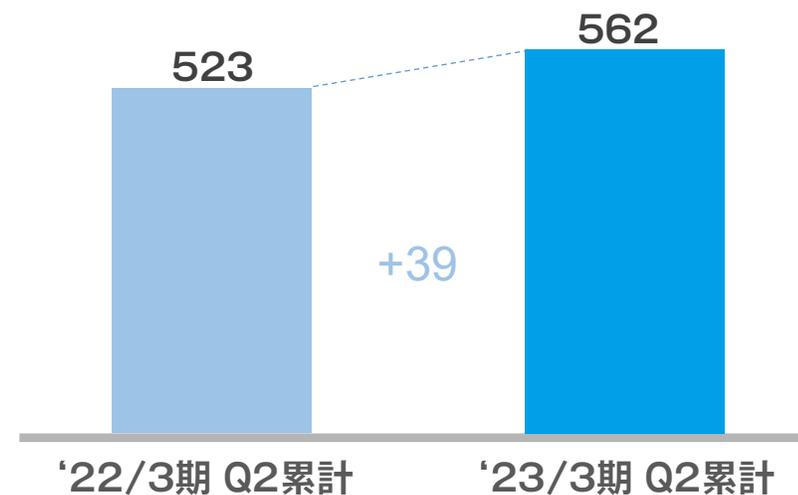
- 一般研磨関連
- ハイテク関連



前年同期比較 (Q2累計)

営業利益

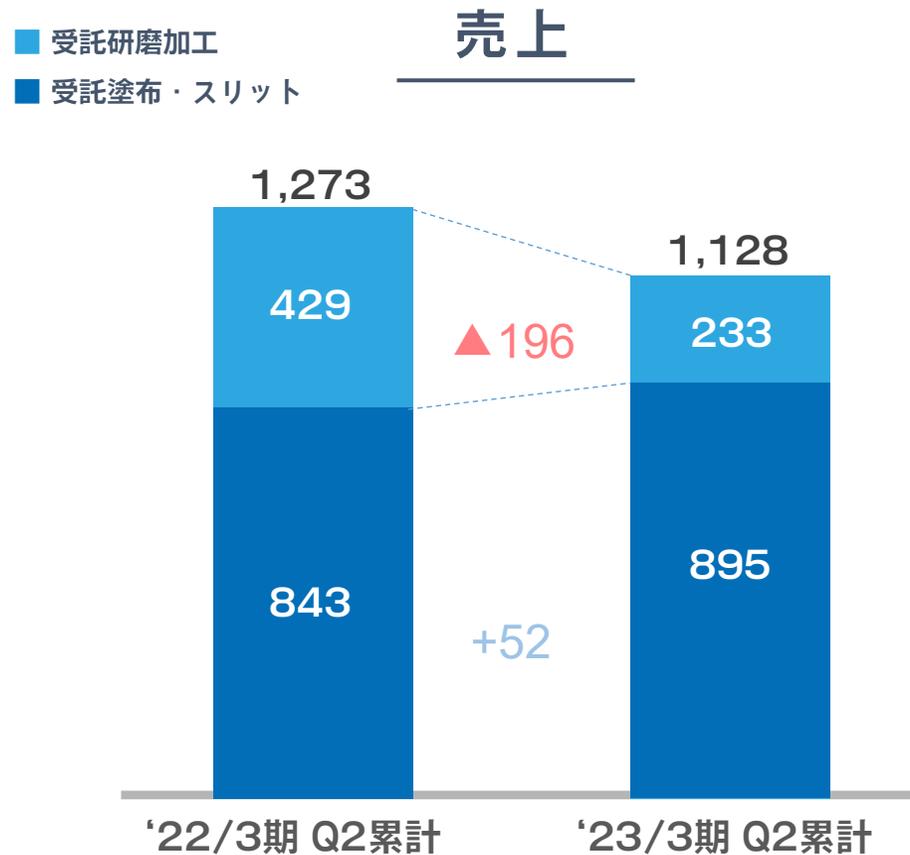
[単位：百万円]



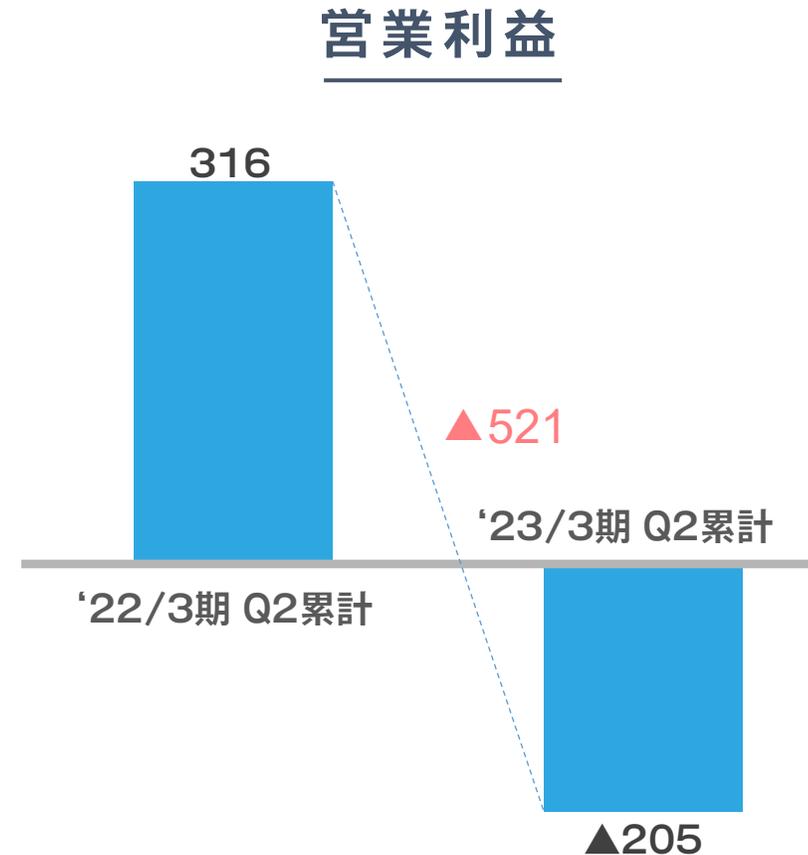
前年同期比較 (Q2累計)

受託塗布・スリットは生産効率向上も寄与し、売上は安定的に推移
 受託研磨加工は一部大口顧客の終了に伴い、売上が減少

[単位：百万円]



[単位：百万円]



貸借対照表推移

[単位：百万円]

[単位：百万円]	2022年3月末	2022年9月末	増減
流動資産	10,611	9,128	▲ 1,483
現金及び預金	2,394	2,852	458
前払金	2,755	0	▲ 2,755
固定資産	3,994	7,171	3,176
有形固定資産	3,350	6,537	3,187
資産合計	14,606	16,299	1,692
流動負債	4,002	4,303	300
短期借入金（社債含む）	1,505	1,899	394
固定負債	2,512	3,411	898
長期借入金（社債含む）	2,215	3,158	943
負債合計	6,515	7,714	1,199
純資産合計	8,091	8,584	493
負債純資産合計	14,606	16,299	1,692
借入金合計	3,720	5,058	1,337

鹿沼工場取得準備金

2022年4月1日
鹿沼工場取得機械等を含めた設備
の増強為替換算調整勘定の
増加118百万円配当金の支払による
利益剰余金の減少
213百万円2023年3月期
第2四半期

総資産

16,299
(百万円)

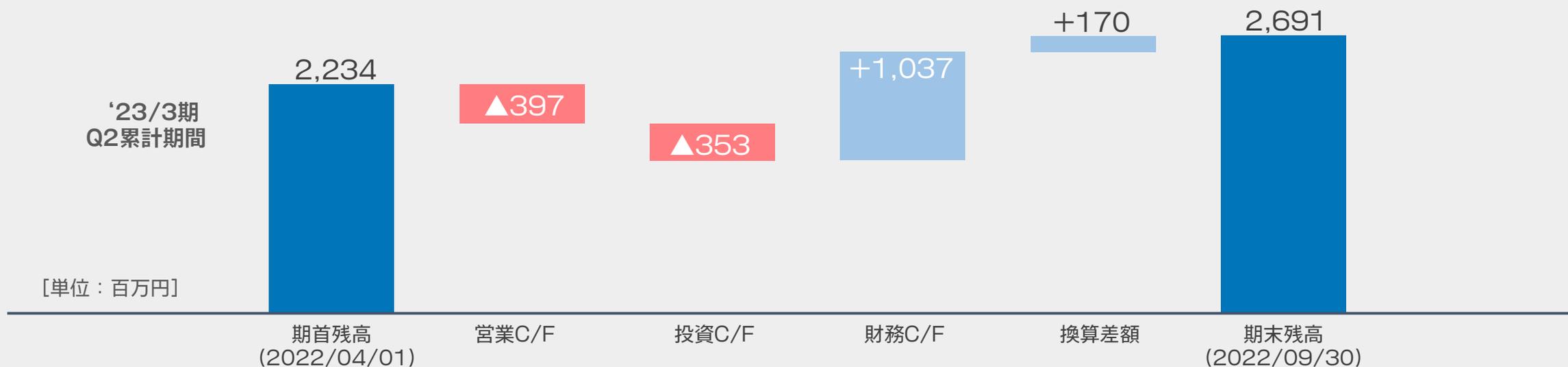
純資産

8,584
(百万円)

自己資本比率

52.7%

[単位：百万円]	'22/3期 Q2累計期間	'23/3期 Q2累計期間	主な増減要因	
営業活動によるキャッシュ・フロー	772	▲397	税金等調整前当期純利益 722 減価償却費 248 棚卸資産の増加による減少 150 その他営業活動による減少 423 法人税等の支払額 275	売上債権の増加による減少 87 未収入金の増加による減少 191
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲65	▲353	有形固定資産の取得による支出 304	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲451	1,037	長期借入れによる収入 1717 長期借入金の返済による支出 614 配当金の支払額 211	
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	170		
現金及び現金同等物の期首残高	2,862	2,234		
現金及び現金同等物の四半期末残高（資金）	3,122	2,691		



[単位：百万円]

02

業績見通し

2023年3月期 通期

2023年3月期 通期連結業績予測については下方修正

- 電子デバイス市場の一時的な調整が見込まれることや、受託事業において受注元の在庫調整や生産変更などによる受注減の影響を受け減収の見込み
- 資源価格の高騰、売上構成の変化や生産能力拡大に向けた物流・人的先行投資コストが増加したことにより減益の見込み

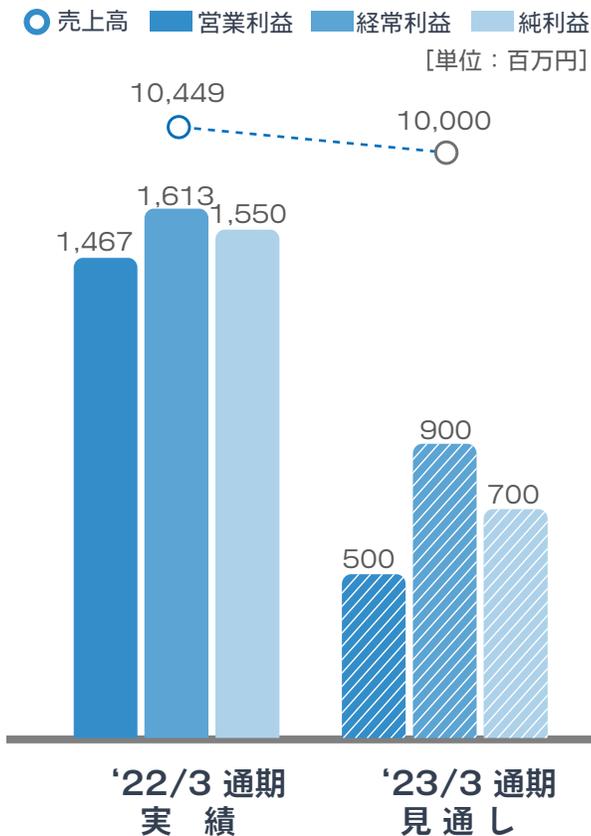
2023年3月期 通期連結業績予測

[単位：百万円]	前回発表	今回	増減額	増減率	'22/3 通期実績
売上高	10,500	10,000	▲500	▲4.8%	10,449
営業利益	1,000	500	▲500	▲50.0%	1,467
経常利益	1,100	900	▲200	▲18.2%	1,613
純利益*	900	700	▲200	▲22.2%	1,550

*親会社株主に帰属

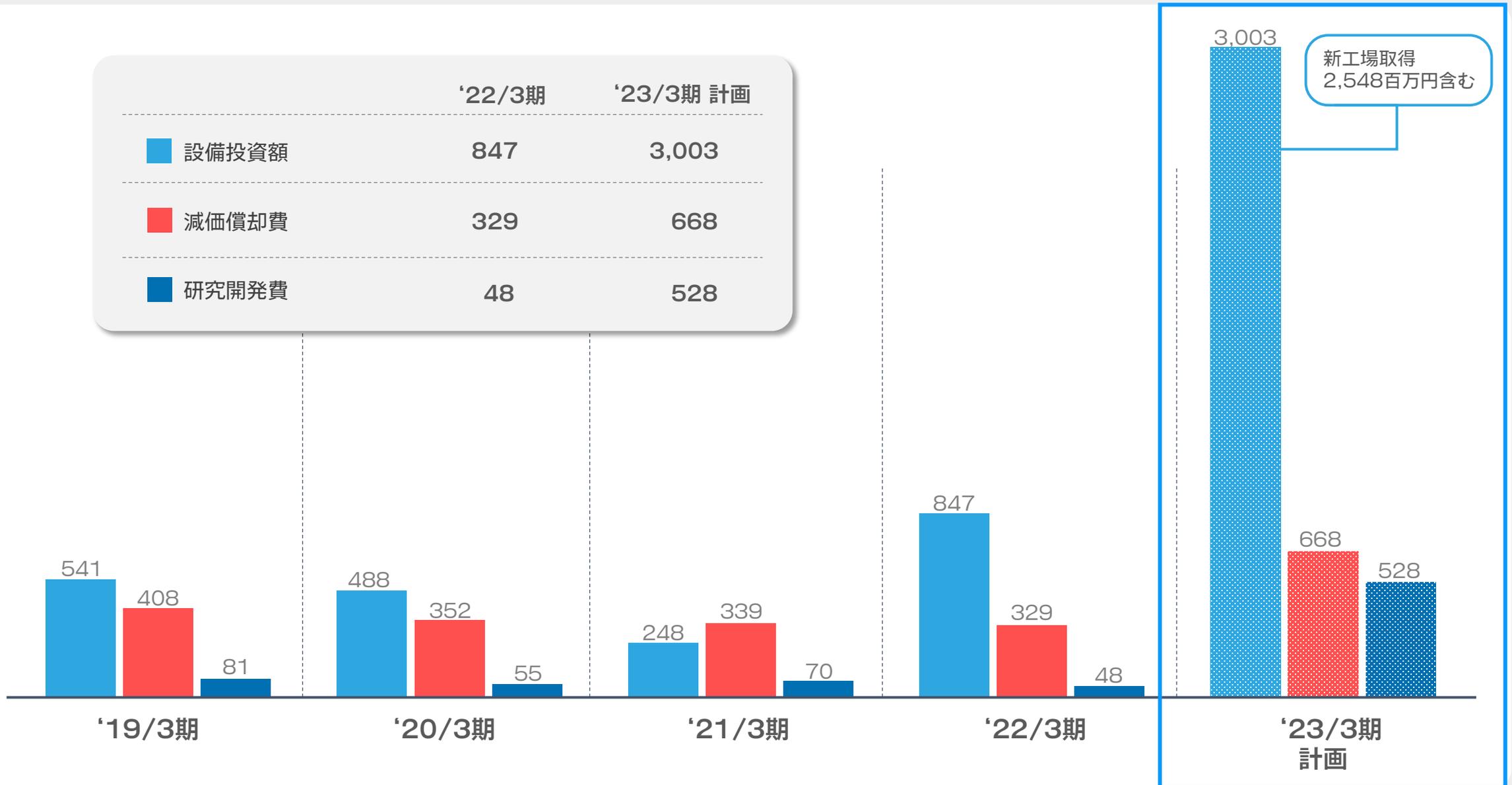
当数字は11/14時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

予測為替レート：135円



[単位：百万円]

	'22/3期	'23/3期 計画
■ 設備投資額	847	3,003
■ 減価償却費	329	668
■ 研究開発費	48	528



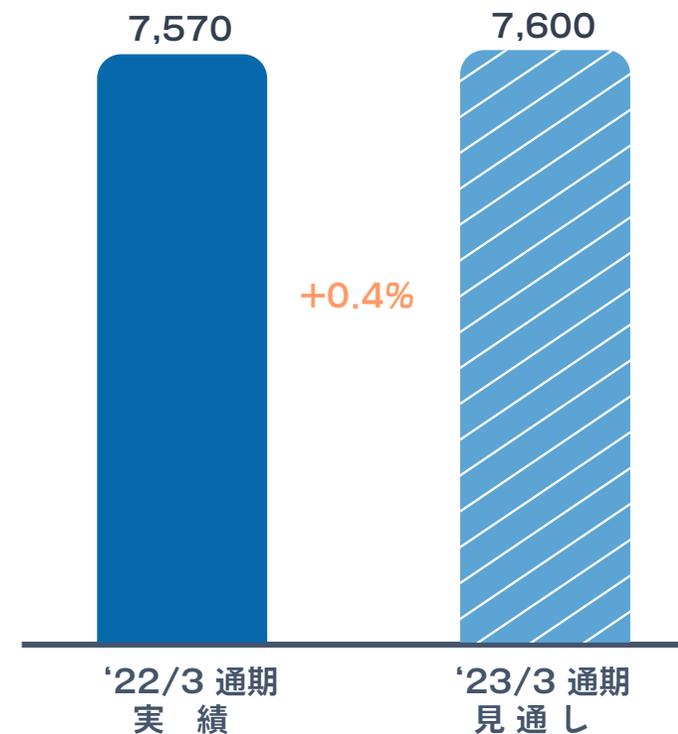
製品事業の売上は市場の一時的な調整により、横ばいに推移する見通し

製品事業

一般研磨関連/ハイテク関連

- 半導体やハードディスクなどの電子デバイス市場の一時的な調整で減少する見通し。
- 自動車分野は回復は緩やかな見通し。
- 生産リードタイムの短縮、適正在庫の見直しにより即納体制を構築しサービス向上による売上増加を見込む。
- 組織改編で事業部内に開発部門を設けることにより、新製品開発の活性化と販売まで一貫した組織運営に基づき売上増加を目指す。

[単位：百万円]



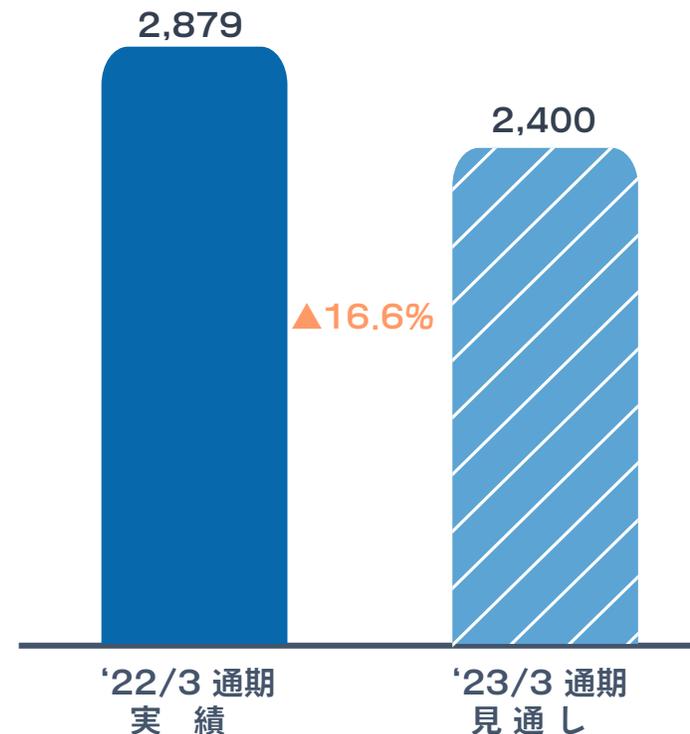
受託塗布・スリットは堅調に推移する見通しも、受注元の在庫調整や生産変更などによる受注減の影響を受け受託事業全体では売上は減少する見通し

受託事業

受託研磨/受託塗布・スリット

- 受託塗布・スリットは引き続き堅調に推移する見通し。
- 受託研磨関連は次世代半導体関連の国内外からの需要の高まりを受け、新規案件の引き合いも堅調に増加する見通し。
- 一部大口受注が終了したため、受託研磨加工の売上が減少する見通し。
- 受託研磨加工の新サービスでの実績化を進めて受注の増加を見込む。

[単位：百万円]



	年間配当
2022年3月期	15円
2023年3月期	10円(予想)

配当方針

将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部保留を確保すると共に、株主の皆様に対して安定配当を目指しつつ業績を勘案して、適切な利益還元に努めることを基本方針としております。

免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

当社および当社グループの各部門に関する業界の動向についての見直しを含む、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした予測を前提としており、実際の業績等はこの資料に記載されている将来の見通しとは大きく異なる可能性があることをご留意ください

03

取り組み

2023年3月期 下期

多様化するニーズと付加価値の創造に向けた施策

4つのX (エックス)

SX (Sustainability Transformation)

サステナブルな企業価値創造に向けて
新たな研究開発の場/BCP
工場の環境対策

CX (Customer Experience)

新たな価値の提供
即納体制に向けた取り組み

DX (Digital Transformation)

製造業としてのDX/スマートファクトリー
製造現場と各部署のデータ連携

GX (Green Transformation)

Mipoxのコア技術
グリーンイノベーション

「塗る・切る・磨く」で世界を変える

社会の課題とニーズに、Mipoxのコア技術「塗る・切る・磨く」で応えます。

SiC(炭化ケイ素)、GaN(窒化ガリウム)を筆頭とする次世代半導体の社会実装に向けた開発・研究を進めています。

私たちは社会で必要とされるエレクトロニクス関連の様々なニーズや課題に対し、Mipoxのコア技術を組み合わせた「エンジニアリング」で応えます。

次世代研磨フィルム 専用研磨装置の開発



産総研（TPEC）と共同研究開発を進めているSiCウェーハ向け次世代研磨フィルムについて、2024年度のリリースに向けた開発をおこなっていきます。併せて、専用の研磨装置の開発にも着手。スピーディかつ低ダメージでSiCウェーハを加工出来るプロセス構築し、SiCが担う低炭素社会の早期実現に寄与します。

半導体検査用（プローブカード） クリーニングシート次世代品の開発



EV充電インフラの整備や、車載用SiCパワーモジュールの開発が急速に進んでおり、従来にない過酷な温度環境に耐える次世代半導体対応の検査用プローブカードクリーニングシートの開発が急がれています。設計、材料を一新した新製品の開発へリソースを投入。2023年3月期内のリリースを目指します。

常温接合 受託サービスの強化



受託研磨サービスと共に好評を頂いている「常温接合受託サービス」について、2023年3月期下期以降の受入れ体制を強化いたします。難接合材料に対応した、新たな前処理方法（研磨加工・洗浄処理）を開発。Mipoxのコア技術と常温接合技術を組合せ、次世代半導体基板（ハイブリッドウェーハ）開発ニーズに応えます。

FOM (Future Of Mipox) 次世代半導体プロジェクト

脱炭素社会に向けた再生可能なクリーンエネルギーを効率よく転換し、経済社会システムや産業構造を変革させて成長につなげるGX化（Green Transformation）が急がれています。次世代グリーンパワー半導体、グリーンデータセンターに向けたニーズはますます高まっており、産官学連携を活用し、高品質大口径次世代半導体ウェーハの量産化に向けて取り組んでいます。

加工開発

NEDOグリーンイノベーション基金事業
次世代デジタルインフラの構築

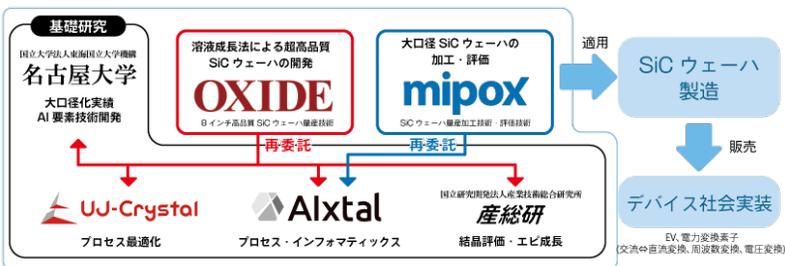
大口径SiCウェーハ加工ラインの開発

ウェーハ加工工数の削減

次世代パワー半導体に用いるウェーハ技術開発

溶液法結晶の評価技術確立

株式会社オキサイドを幹事会社として、株式会社UJ-Crystal、国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学、アイクリスタル株式会社、国立研究開発法人産業技術総合研究所



SiC大口径ウェーハの 量産加工技術開発

次世代半導体 プロジェクト

SiC結晶欠陥の評価 検査技術&装置開発

評価開発

NEDOマテリアル革新技術先導研究プログラム

SiCインゴット検査装置の開発

電力中央研究所・名古屋大学(宇治原徹教授)・理化学研究所・
アイクリスタル

NEDO官民による若手研究者発掘支援事業

半導体製造の生産性を向上させる キラー欠陥自動検査システムの開発

名古屋大学(原田俊太准教授)



新たな製品の開発と最適化に向けた取り組み

既存製品



研磨フィルム



液体研磨剤



研磨布紙
関連製品

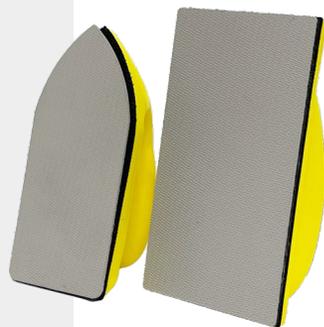


研磨周辺機器



新たな製品

特許取得済みの独自製法で従来のヤスリの概念を変えるフレキシブルヤスリ **オムニシート**



CFRP（炭素繊維強化プラスチック）向けの製品開発



航空宇宙、自動車・バイク、産業機器、建築土木、軽量化が必要な大型・小型のUAV（無人航空機・ドローン）、エアモビリティ（空飛ぶクルマ・ホバーバイク）

ミスミ化学製品

ミスミ化学が有していた造船向けの製品のノウハウとMipoxの技術の組み合わせにより、従来のNikken製品とミスミ化学製品の最適な融合を図ってまいります。



低コストで高品質な製品開発



Ref Lite 新製品「ウルトラライトリフレクター」を発売



Ultra Light Reflector

世界最薄最軽量※1のリフレクタークロス（再帰性反射材）「Ref Lite ウルトラライトリフレクター」を、超軽量生地の製造技術を誇るカジレーネ株式会社（本社：石川県かほく市 代表取締役社長 梶 政隆）と共同開発しました。現在、本技術は特許出願中であり、2022年11月中の在庫展開を予定しております。

※1 国内のオープンレンズタイプのリフレクター製品として最薄かつ平米あたり最軽量（当社調べ）

アパレル業界でも軽量ウェアなどの技術革新が進むなか、「リフレクター製品も、より薄く、より軽量なものがほしい」というニーズを受け、リフレクター製品として世界最薄※1となる0.14mmかつ、平米あたりの重量が160gと最軽量※1のリフレクターを開発しました。スポーツウェアや作業服といった負担軽減が求められるファッションをはじめ、快適性を追求する衣類や雑貨に、ぜひ取り入れていただきたい製品です。今後もレフライトは、お客様のニーズに応えるとともに、リフレクターの新たな可能性を追求してまいります。

レフライトシリーズ



カスタマー・エクスペリエンス (CX) を軸とした多様化するニーズへの対応

即納体制の構築

生産リードタイムの短縮や適正在庫の見直しと共に、量産計画を実施



福山事業所・鹿沼事業所を中心とした物流体制の強化



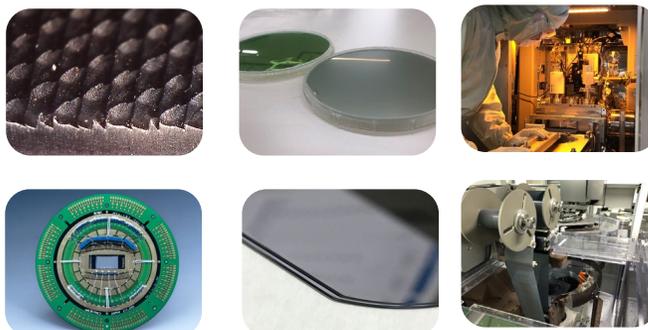
自社トラック便による拠点間の在庫移動を柔軟化



新しい価値の創造

製品・サービスの性能の向上

新製品・新サービスの開発・販売



エンジニアリング (技術の開発と改善)

Mipoxの「エンジニアリング」とは、社会やお客様に付加価値を創造し続ける精神、姿勢を表します。我々のコア技術「塗る・切る・磨く」で、その分野のプロフェッショナルとしてチャレンジし続け、社会やお客様が実現したいことを具現化し、世界を変えていきます。さらに、お客様の成功のための付加価値を創造する環境をつくるため、多様な働き方を推進してまいります。

オウンドメディア

ノウハウの共有

オウンドメディア「研磨ラボ」をリニューアルし粗研磨から精密研磨まで幅広いジャンルで培ってきた研磨技術・研磨材に関する様々な情報を提供。



サステナブルな企業価値創造に向けて サステナビリティ・トランスフォーメーション (SX)

製品事業

国内での生産体制の強化と効率化を目指し、鹿沼事業所への海外拠点及び国内他拠点の設備・人員の集約

日本国内に集約することで、海外からの輸送コストの削減に加え、自社トラック便の活用により拠点間での輸送費を低減

研磨材サプライチェーンとして安定的な製品の供給強化

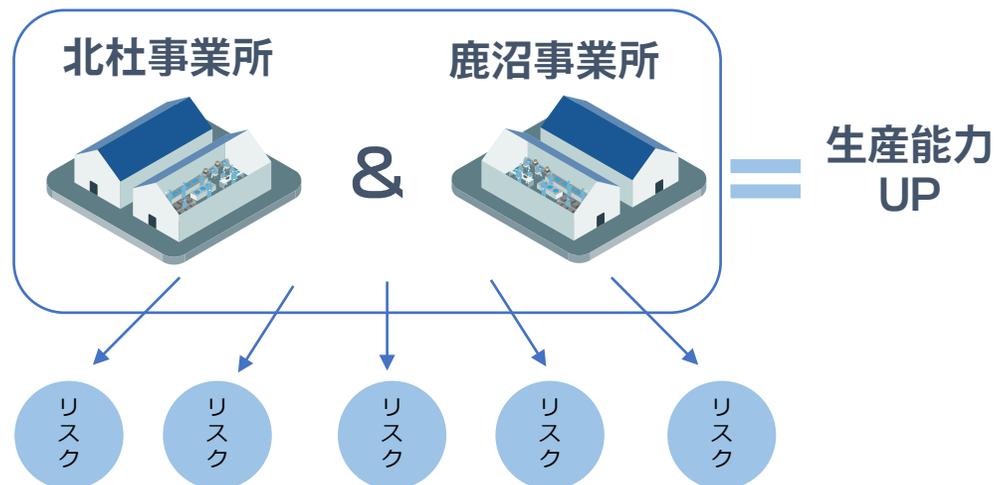
CX向上へ向けた即納体制構築



受託事業

受託事業の生産能力増強

BCPの観点からリスク分散



工場の環境対策

RTO (蓄熱式直接燃焼装)



研磨フィルム等を製造する際、コーティングの乾燥工程から発生する有機溶剤ガス（揮発性有機化合物：VOC）を集め、燃焼することにより無害化する装置です。燃焼時の余熱は、廃熱ボイラを通して蒸気を生じさせ工場熱源として利用

LNG (液化天然ガス) ボイラ



LNG (液化天然ガス) はCO2やNOx (窒素酸化物) の排出量が石油に比べて少なく、SOx (硫黄酸化物) や煤塵がまったく発生しない燃料です。熱源をLNG化することにより大気への有害物の排出量を削減

太陽光パネル



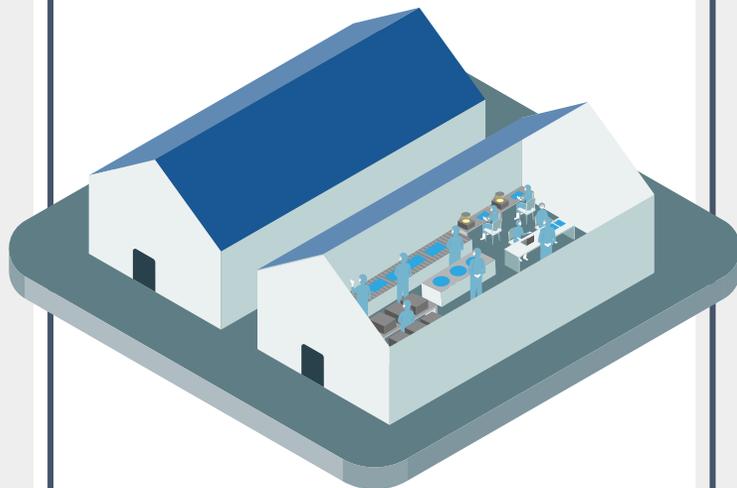
現在、北杜事業所屋根及びパネルラックに装備、公称最大出力120kWの性能を有しています。新たに設置予定で、1年間で750,790kWhの発電量が期待

段階的・工程別に稼働させてきた鹿沼事業所の設備を、計画通り4月より本格稼働 引き続き国内外の一部製品製造工程を鹿沼事業所に移設予定

鹿沼事業所

敷地面積：約 60,000㎡

延床面積：約 46,000㎡



受託事業の生産能力の拡大

事業成長のための場所確保

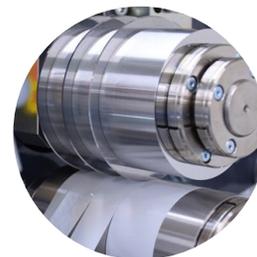
BCPの観点から生産体制の
リスクの分散

受託研磨加工



稼働開始

スリット工程



北杜事業所から移設完了
マレーシア拠点からの移設予定

塗布工程



稼働開始予定
2023年4月

環境配慮設備



RTO
(蓄熱式直接燃焼装置)
設置完了

ダイカット工程



タイ工場から移設予定
2022年11月

物流



稼働
自社トラック便運用開始

DXによる各部門の横断的な連携による生産効率向上、新たなソリューションの拡充で課題の可視化・解決に取り組んでいきます。



製造拠点のスマートファクトリー化の加速

人・もの・情報すべてとつながる工場、スマートファクトリー化に向けて、引き続きデジタルデータ活用により業務プロセスの改革、品質・生産性の向上を継続発展的に実現する工場へ向けた取組強化



RPAによる作業の効率化

- 定型作業の自動化
- 電話・メール業務のサポート
- 検査データの収集・分析

04 Appendix

会社概要

会 社 名	Mipox(マイポックス)株式会社
英 文 名	Mipox Corporation
創 業	大正14年(1925)年11月21日
設 立	昭和16年(1941)年12月12日
代表取締役社長	渡邊 淳 (Jun Watanabe)
本 店	〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出8566 (北杜事業所)
本 社	〒102-0083 東京都千代田区麹町 5 丁目3-2 3 日テレ四谷ビル10階
株 式 市 場 名	東京証券取引所 スタンダード
証 券 コ ー ド	5381
従 業 員 数	466名 (2022年3月末時点) 連結



『塗る・切る・磨くで世界を変える』

我々は1925年の創業以来、メーカーとして培ってきた当社のコア技術である

「塗る・切る・磨く」と共に発展してまいりました。

この「塗る・切る・磨く」を通して、世界の変化を支えることが我々が果たすべき役割であり存在意義であります。

経営方針

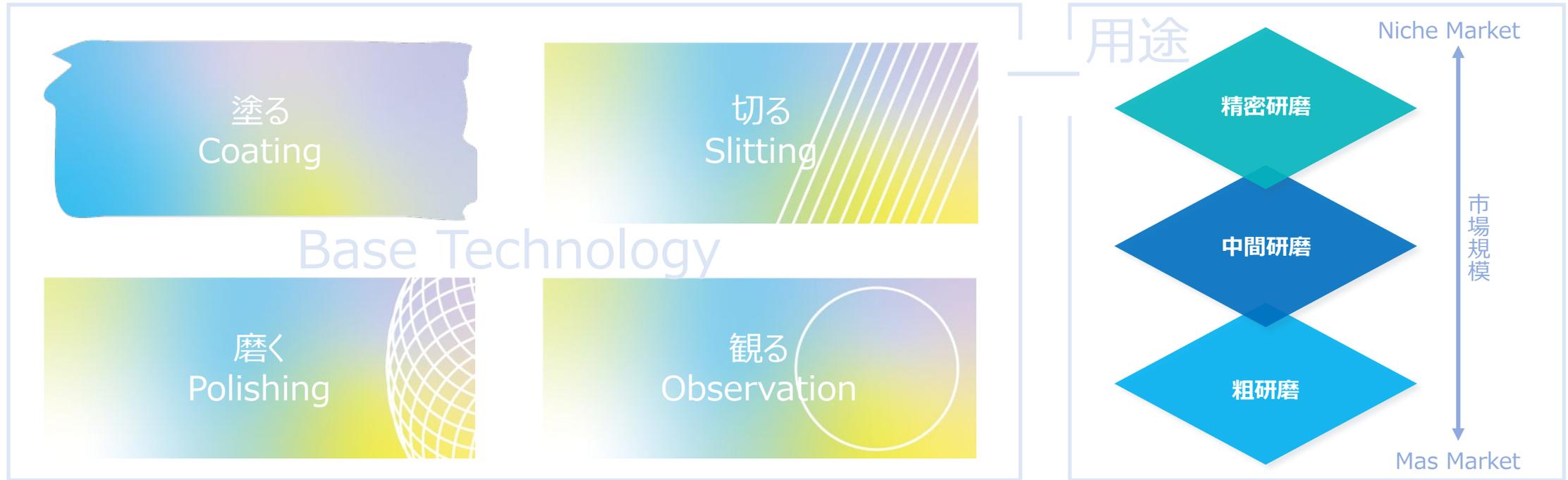
エンジニアリングアプローチによる製品事業の付加価値向上

受託事業からエンジニアリングサービス事業への転換

早い変化と多様性に対応できる経営基盤の整備

「塗る、切る、磨く、観る」を極めた技術力

創業から続く箔の製造技術を応用することで「塗る」「切る」「磨く」技術をコアにした事業を展開した企業であり、最近では、当社の研磨品質が”市場に検査できる装置がない”というレベルにまで達し、検査装置の拡充も後押しし、現在は「観る」技術もコア技術に加えた「塗る、切る、磨く、観る」をコア技術としています。



Mipoxでは、自社製品の製造のみならず、受託事業も手がけております。
 研磨業界において、世界シェアを誇る分野をもつニッチトップコンバーターです。

製品事業

一般研磨関連
 ハイテク関連

研磨材を開発・製造して、販売をしています。
 超精密研磨から一般研磨、装置や反射材など、世界中の幅広い用途で当社製品を提供しています。



研磨フィルム



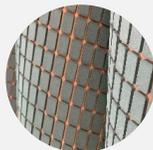
液体研磨剤



研磨関連製品



研磨布紙製品



研磨砥石製品



研磨周辺機器



検査装置



再帰性反射材
(Ref Lite)



ヤスリ製品

受託事業

受託研磨加工
 受託塗布・スリット

受託研磨は、主に半導体用途を中心に、ウェーハをはじめとする材料をお客様よりお預かりし、弊社が保有する設備（研磨装置、洗浄機、検査装置）と弊社独自の研磨材を用いて、お客様の要望に沿った研磨加工を提供。受託コーティング・スリットは、お客様の基材（フィルム等）や塗料材をお預かりし、弊社が保有する設備（調合、コーティング、スリット）を用いてフィルム化。



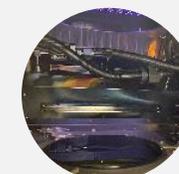
塗布製品



研磨加工



スリット加工



常温接合加工



検査

IRお問い合わせ

<https://www.mipox.co.jp/inquiry.html>



フェアディスクロージャーの観点から、公平な情報開示体制と株主様と投資家の皆様へのお問合せ対応の維持を考慮し、IRお問い合わせ窓口のお電話での対応をおこなっておりません。HPのお問い合わせフォームをご利用ください。

